

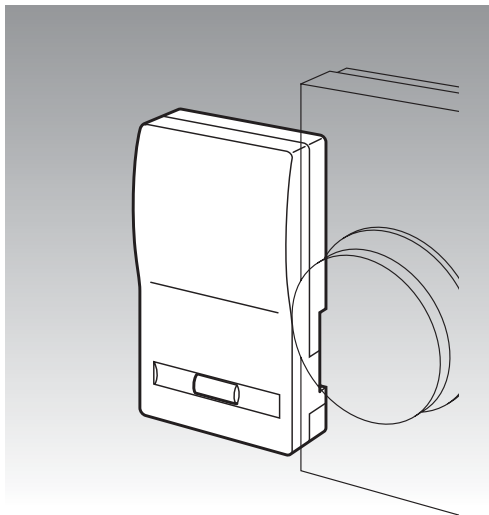
家庭用

連動無線ユニット

都市ガス警報器用親子セット 型式名 CMS-01
 都市ガス警報器用親機 型式名 CM-101
 火災警報器用子機 型式名 CM-201

取付説明書【施工される方へ】

お客様にこの連動無線ユニットを安全に正しくご使用いただくために、この取付説明書をよくお読みいただき、指定された工事を行ってください。



親機接続対象機器
 XW-103、105、106
 の各シリーズ

子機接続対象機器
 SA-156Ec・SA-156Ex
 SA-158Ec・SA-158Ex

TT0157A10-A

1.お願いとご注意

- 無線ユニットの取り付けは、この取付説明書に従って、指定された工事を行ってください。
- 工事終了後に、必ず作動点検を行ってください。
 万一、作動不良があったときは交換してください。
- 工事終了後に、「無線ユニットの説明」「お客様への周知事項」について、必ずお客様に説明してください。

△注意

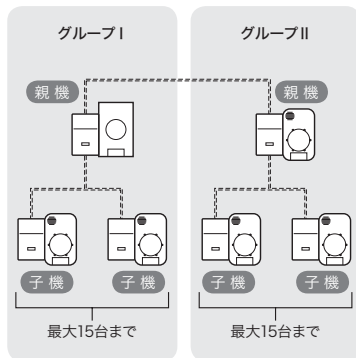
無線ユニットには、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
 故障の原因となります。

分解や改造はしないでください。
 発火・故障の原因となります。

2.無線ユニットの機能について

この無線ユニットは、火災警報時に、火災警報機能付ガス警報器および複数の火災警報器を鳴動（相互連動）させるための装置です。警報器に接続することによって、接続した警報器間の通信を無線で行います。無線通信を行うためには、事前に親機-子機を関連づける登録を行う必要があります。また、親機-親機を登録すると、グループ間の無線通信も可能になります。（→「7.連動登録」参照）
 親機に対して子機は最大15台まで、グループは最大2グループまで登録できます。また、親機と連動無線ユニットマイコンメータ用親機（別売品）を組み合わせれば、ガスもれ警報信号、不完全燃焼警報信号または火災警報信号によって、マイコンメータを遮断することができます。詳しくは連動無線ユニットマイコンメータ用親機に付属の取扱説明書を参照してください。

連動無線システム



【お断わり】

●ガスもれ警報信号および不完全燃焼警報信号では、他の火災警報器は鳴動（相互連動）しません。

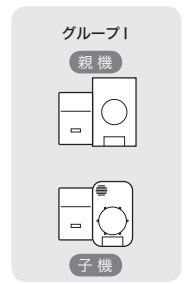
●この無線ユニットは、他社の無線機器と組み合わせて使用することはできません。

3.作業手順一覧

主な取付作業例（施工例）で必要な作業手順と参照項目を記載しています。各作業は、参照項目の内容を参照して進めてください。

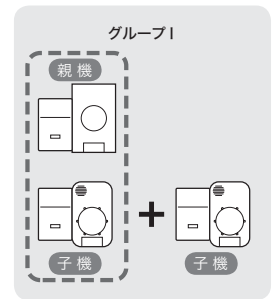
■親子セットを取り付ける場合

作業手順	参照項目
1 商品などを確認する	▶「4.取り付け前の確認」
2 電波環境を確認する	▶「5.チャンネルの設定」
3 警報器に接続する	▶「6.警報器への接続」
4 設置する	▶「8.設置と点検」
5 点検する	▶「8.設置と点検」
6 お客様に説明する	▶「9.お客様への説明について」



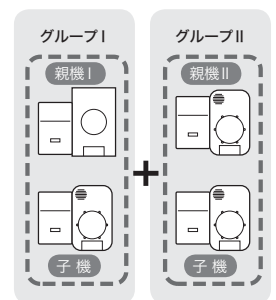
■親子セットと子機を取り付ける場合

作業手順	参照項目
1 商品などを確認する	▶「4.取り付け前の確認」
2 電波環境を確認する	▶「5.チャンネルの設定」
3 警報器に接続する	▶「6.警報器への接続」
4 親機-子機を登録する	▶「7.連動登録」
5 設置する	▶「8.設置と点検」
6 点検する	▶「8.設置と点検」
7 お客様に説明する	▶「9.お客様への説明について」



■親子セットを2セット取り付ける場合

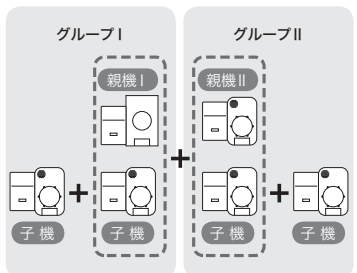
作業手順	参照項目
1 商品などを確認する	▶「4.取り付け前の確認」
2 電波環境を確認する	▶「5.チャンネルの設定」
3 警報器に接続する	▶「6.警報器への接続」
4 親機I-親機IIを登録する	▶「7.連動登録」
5 設置する	▶「8.設置と点検」
6 点検する	▶「8.設置と点検」
7 お客様に説明する	▶「9.お客様への説明について」



※グループIIはCMS-01またはCMS-02が登録可能です。

■親子セット2セットにそれぞれ子機を取り付ける場合

作業手順	参照項目
1 商品などを確認する	▶「4.取り付け前の確認」
2 電波環境を確認する	▶「5.チャンネルの設定」
3 警報器に接続する	▶「6.警報器への接続」
4 親機I-子機を登録する	▶「7.連動登録」
5 親機II-子機を登録する	▶「7.連動登録」
6 親機I-親機IIを登録する	▶「7.連動登録」
7 設置する	▶「8.設置と点検」
8 点検する	▶「8.設置と点検」
9 お客様に説明する	▶「9.お客様への説明について」



※グループIIはCMS-01またはCMS-02が登録可能です。

4.取り付け前の確認

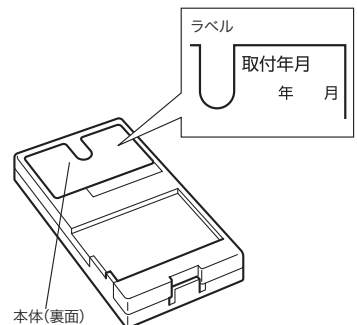
4-1.設置する前に

①ラベル

取付年月を記入してください。

②保証書

「お取付日」「製造番号（親機・子機）」、「(実施者)販売店」欄を記入してください。



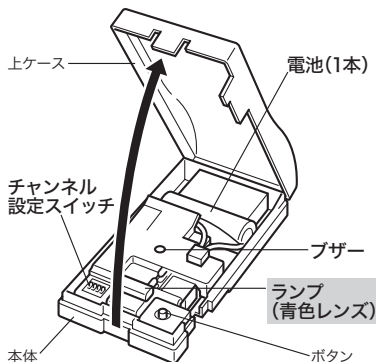
本体(裏面)

4-2.梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

梱包部品	親子セットCMS-01	親機CM-101	子機CM-102
親機(本体・電池1本入り)	1	1	
子機(本体・電池1本入り)	1		1
接続ケーブル(親機用・子機用)	各1	親機用1	子機用1
連結板(親機用・子機用)	各1	親機用1	子機用1
取扱説明書(保証書付)	1	1	1
取付説明書(本書)	1	1	1
かんたん設置ガイド	1	1	1

親機



接続ケーブル



4-3.取付位置の確認

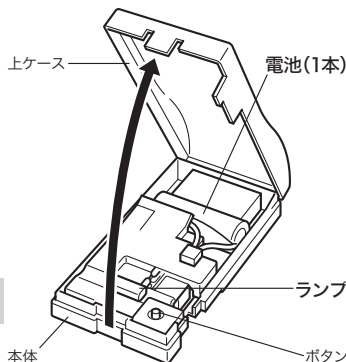
設置場所の選定については、警報器に付属の取扱説明書に従ってください。

無線ユニットの通信距離は、見通し100m程度です。

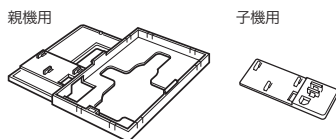
※ただし、以下のような設置場所では、通信距離が短くなる場合があります。

- テレビやラジオが60cm以内にある場所。
- アマチュア無線・パーソナル無線・CB無線などの無線機器のアンテナが4m以内にある場所。
- コードレス電話が60cm以内にある場所。

子機



連結板



△注意

強い電界・磁界を発生する機器や電波を利用した機器から離して設置してください。

- 例：●テレビやラジオから60cm以上離す。
●アマチュア無線・パーソナル無線・CB無線などの無線機器のアンテナから4m以上離す。
●コードレス電話から60cm以上離す。

電波の到達に影響が出たり、誤動作の原因となります。また、電池の消耗が早く進んでしまう恐れがあります。

金属製の遮へい物を近くに設置しないでください。

電波の到達に影響が出たり、誤動作の原因となります。

近隣住宅に無線システムが使用されている場合は、そのシステムとは異なるチャンネルを使用するようにしてください。

周囲と同じチャンネルを使用すると、通信に障害が起こったり、相互の電波の影響により、電池の消耗が早く進んでしまう恐れがあります。

5.チャンネルの設定

無線ユニットを取り付ける場所の周囲の電波(チャンネル使用)状況を確認し、必要に応じてチャンネルを設定してください。この無線ユニット(すべての親子セット)は、出荷時にチャンネル(無線通信用)を「1」に設定されています。

△注意

必ず周囲のチャンネル使用状況を確認してください。

周囲と同じチャンネルを使用すると、通信に障害が起こったり、相互の電波の影響により、電池の消耗が早く進んでしまう恐れがあります。

〈おねがい〉

親子セットを2セット(2グループ)を使用する場合は、必ずグループ別に作業を行い、親機・IIのチャンネルが異なるように設定してください。(親機I・IIは同じチャンネルを使用できません。)

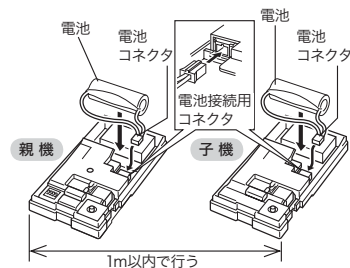
5-1.周囲のチャンネル使用状況確認

- ①子機を親機に近づけて(1m以内)、親機の電池コネクタを接続する。(電源投入)

〈おねがい〉

必ず親機から電池コネクタを接続し、親機のチャンネルを確認した上で、子機の電池コネクタを接続してください。

- ②親機のランプの点滅・ブザー音を確認する。(親機は周囲と同じチャンネルの電波がないか自動チェックします。)



チャンネル設定が不要な場合

■2回ごとの点滅に変わったとき

周囲と同じチャンネルの電波がなければ、親機のランプ / ブザーが7回点滅 / 鳴動した後、2回ごとの点滅に変わります。この場合、親機のチャンネル設定は不要です。子機の電池コネクタを接続してください。(電源投入)

接続が完了すると、子機は2回ごとの点滅を始めます。その後、親機-子機が自動で通信を行い、ともにランプが2秒点灯した後、消灯します。ランプが消灯したら作業は終了です。

親機

ランプ / ブザー (2秒ごとに7回繰り返す)	
点滅 / 鳴動	消灯 / 停止
1回	1秒程度

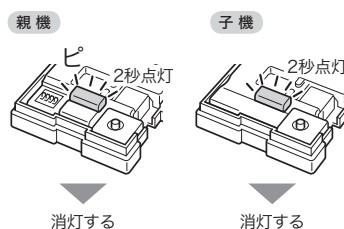
ランプの表示 (2秒ごとに繰り返す)	
点滅	消灯
2回	1秒程度

子機の電源投入

子機

ランプの表示 (2秒ごとに繰り返す)	
点滅	消灯
2回	1秒程度

自動で通信



これで作業は終了

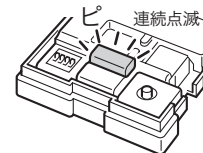
チャンネル設定が必要な場合

■ブザー音とともにランプの点滅が続くとき

周囲と同じチャンネルの電波があれば、親機のランプ / ブザーが数回点滅 / 鳴動した後、連続の点滅 / 鳴動に変わります。次項「5-2.チャンネルの設定」に進んで、異なるチャンネルに設定してください。

親機

ランプ / ブザー (2秒ごとに数回繰り返す)	
点滅 / 鳴動	消灯 / 停止
1回	1秒程度



次項「5-2.チャンネルの設定」に進む

■ランプの点滅のみ続くとき

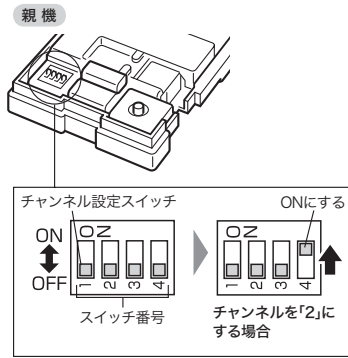
親機が2回ごとの点滅に変わった後、15秒経過してランプのみの連続点滅になったときは、子機との通信ができていないことの表示です。

子機の電池コネクタを確実に接続しているか確認してください。接続している場合は、いったん外して、接続し直してください。接続が完了すると、子機は2回ごとの点滅を始めます。その後、親機-子機が自動で通信を行い、ともにランプが2秒点灯した後、消灯します。ランプが消灯したら作業は終了です。

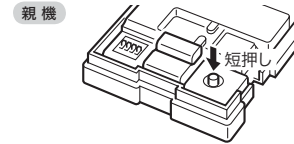
5-2.チャンネルの設定

- ①以下を参照して親機のチャンネル設定スイッチを操作する。
チャンネルは、2から順に(3、4、5...) 変える。
右図はチャンネルを「2」に設定する場合です。

設定するチャンネル	チャンネル設定スイッチ番号と位置			
	1	2	3	4
1	未使用 (OFF)	OFF	OFF	OFF
2			OFF	ON
3			ON	OFF
4			ON	ON
5	ON	OFF	OFF	OFF
6			OFF	ON
7			ON	OFF
8			ON	ON



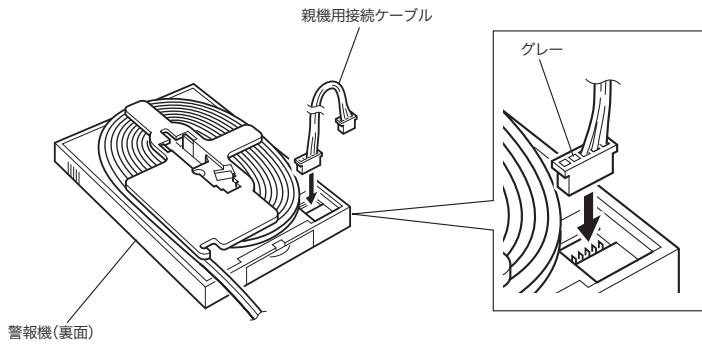
- ②親機のボタンを短押しして、前項「5-1.周囲のチャンネル使用状況確認」の②を行う。



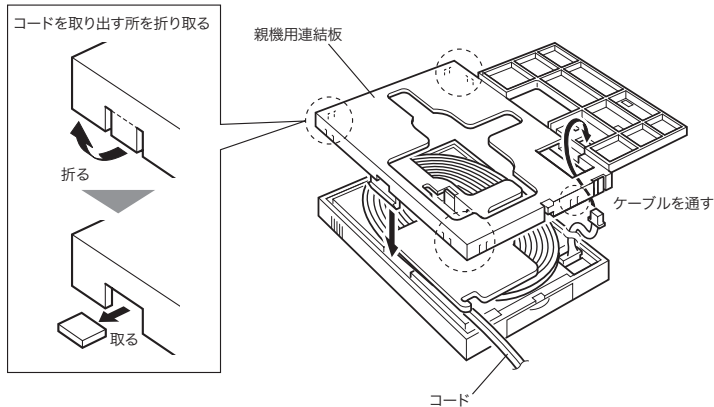
6.警報器への接続

2-1.親機の接続

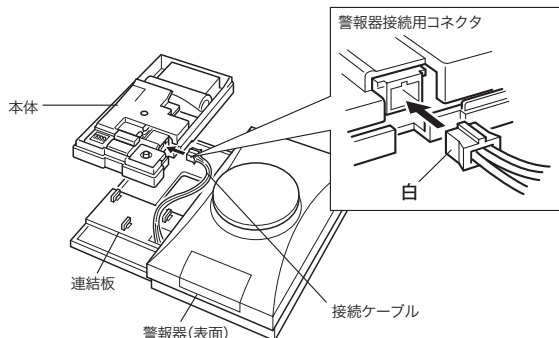
- ①接続ケーブルを警報器に取り付ける。



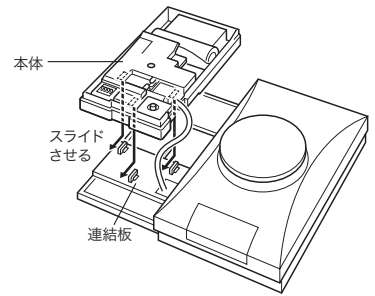
- ②接続ケーブルを連結板に通し、連結板を警報器に取り付ける。



- ③接続ケーブルを本体に接続する。

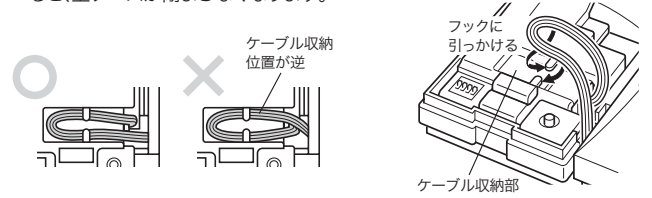


- ④本体を連結板に取り付ける。



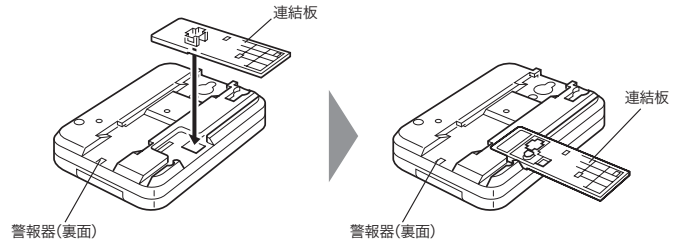
- ⑤接続ケーブルを収納する。

※ケーブルの収納位置が逆になっていると、上ケースが閉まらなくなります。

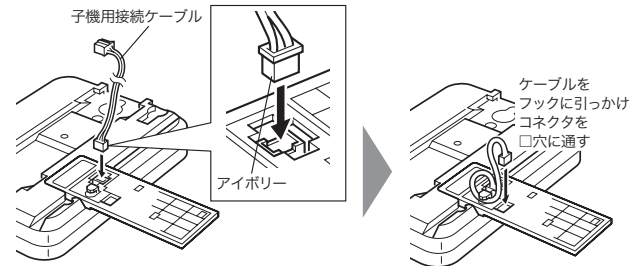


2-2.子機の接続

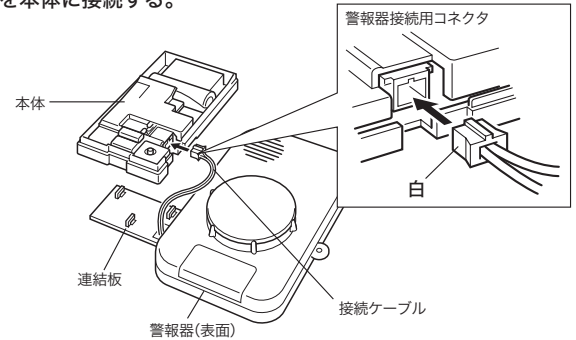
- ①連結板を警報器に取り付ける。



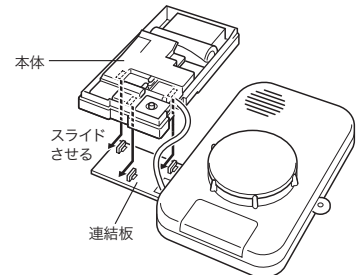
- ②接続ケーブルを警報器に接続する。



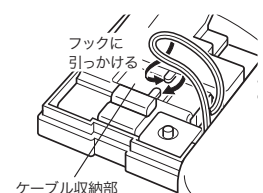
- ③接続ケーブルを本体に接続する。



- ④本体を連結板に取り付ける。



- ⑤接続ケーブルを収納する。



7.連動登録

7-1.親機-子機の登録 (追加子機のみ)

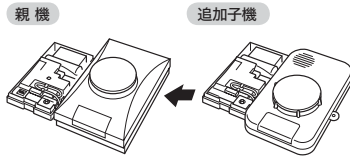
作業をやり直す場合は、各機器のボタンを4回短押しして、ランプを消灯させる。

①親機に追加したい子機を近づける。

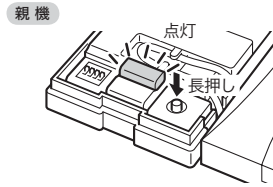
△注意

すでに使用中の親機に追加するときは、親機を壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

親機を壁面に取り付けたまま高所で作業を行うと、転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。



②親機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。

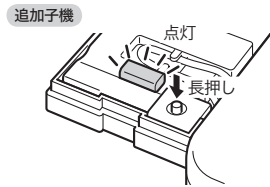


次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

③追加子機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。

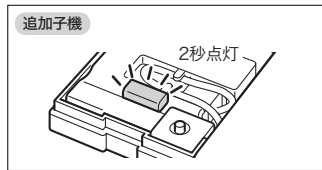
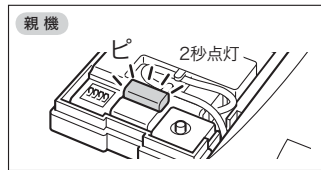
※追加子機が複数台ある場合は、③~④を1台ずつ行ってから、⑤へ進む。



次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 2回

④もう一度、追加子機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。登録が完了すると、追加子機のランプが消灯します。

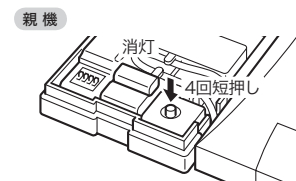


次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

消灯する

⑤すべての子機の登録が終了したら、親機のボタンを4回短押しする。親機のランプが消灯すると、作業完了です。



7-2.親機-親機の登録

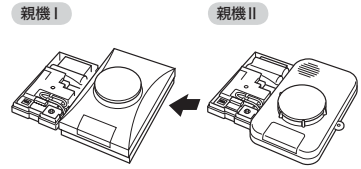
作業をやり直す場合は、各機器のボタンを4回短押しして、ランプを消灯させる。

①親機 I と親機 II を近づける。

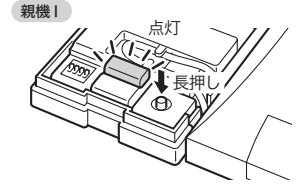
△注意

すでに使用中の親機に追加するときは、親機を壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

親機を壁面に取り付けたまま高所で作業を行うと、転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。



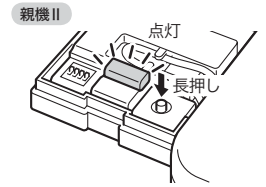
②親機 I のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。



次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

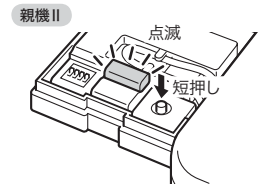
③親機 II のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。



次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

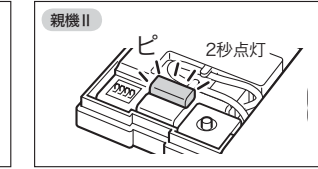
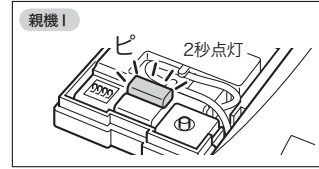
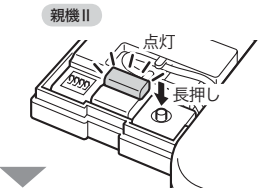
④親機 II のボタンを短押しする。



次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 2回

⑤親機 II のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。登録が完了すると、親機 II のランプが消灯します。

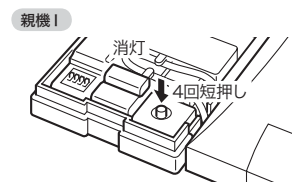


次のランプ表示に変わる

ランプの表示 (10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

消灯する

⑥親機 I のボタンを4回短押しする。親機 I のランプが消灯すると、作業完了です。



各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと元の状態(ランプ消灯)に戻る

各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと元の状態(ランプ消灯)に戻る

7-3.子機の登録解除(子機を多く登録しすぎたとき)

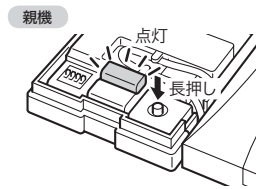
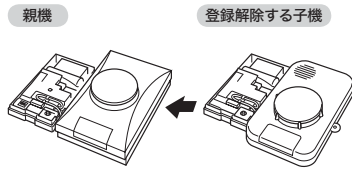
作業をやり直す場合は、各機器のボタンを4回短押しして、ランプを消灯させる。

- ①親機に登録解除したい子機(以下、解除子機)を近づける。

△注意

すでに使用中の親機から登録解除するとき、親機を壁面から取り外し、テーブルなどの上に置いて作業を行ってください。

親機を壁面に取り付けたまま高所で作業を行うと、転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

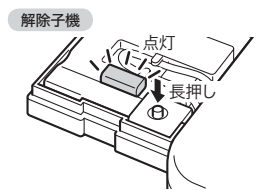


次のランプ表示が変わる

ランプの表示(10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

- ②親機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。

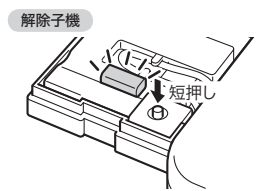
- ③解除子機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。



次のランプ表示が変わる

ランプの表示(10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 2回

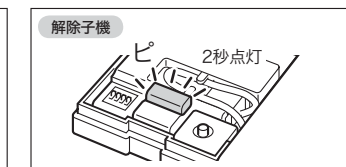
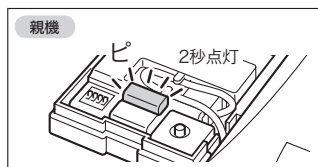
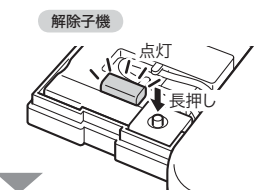
- ④解除子機のボタンを短押しする。



次のランプ表示が変わる

ランプの表示(10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 3回

- ⑤解除子機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。登録の解除が完了すると、解除子機のランプが消灯します。

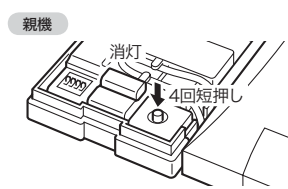


次のランプ表示が変わる

ランプの表示(10秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
3回	▶ 1秒程度	▶ 1回

消灯する

- ⑥親機のボタンを4回短押しする。親機のランプが消灯すると、作業完了です。



8.設置と点検

〈おねがい〉

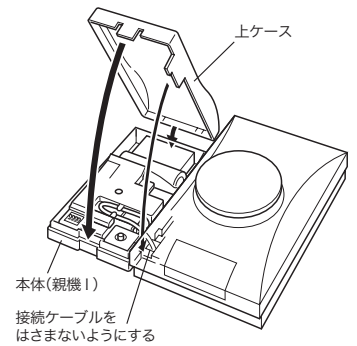
取付位置は、警報器に付属の取扱説明書を参照してください。

8-1.通信感度の確認と設置

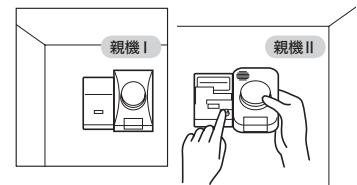
作業をやり直す場合は、各機器のボタンを4回短押しして、ランプを消灯させる。

〈親機-親機の通信感度を確認するとき〉

- ①親機Ⅰの上ケースを閉め、壁面に設置する。



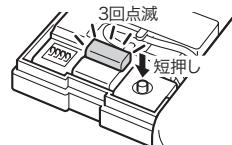
- ②親機Ⅱを設置したい場所(壁面)に仮設置し、ボタンを短押しして親機との通信感度を確認する。



設置可能な場所

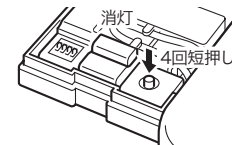
■ランプが3回点滅する

ランプが3回点滅すると、通信感度は最も良好です。親機Ⅱのボタンを4回短押ししてください。親機Ⅱのランプが消灯すると、確認完了です。



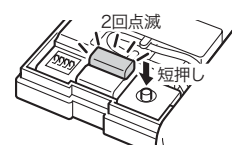
次のランプ表示が変わる

ランプの表示(8秒ごとに繰り返す)	
点滅	消灯
3回	▶ 6秒程度



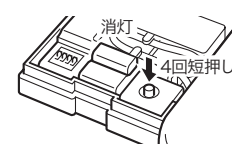
■ランプが2回点滅する

ランプが2回点滅すると、通信感度は良好です。親機Ⅱのボタンを4回短押ししてください。親機Ⅱのランプが消灯すると、確認完了です。



次のランプ表示が変わる

ランプの表示(8秒ごとに繰り返す)	
点滅	消灯
2回	▶ 6秒程度

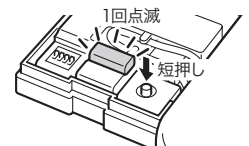


※ランプが3回点滅する場所をおすすめします。

設置不可能な場所

■ランプが1回点滅する

ランプが1回点滅すると、通信ができていません。取付位置を変えて、ランプが3回点滅する位置を探してください。位置を決めたら、親機Ⅱのボタンを4回短押ししてください。親機Ⅱのランプが消灯すると、確認完了です。



次のランプ表示が変わる

ランプの表示(8秒ごとに繰り返す)	
点滅	消灯
1回	▶ 6秒程度

取付位置を変えて、ランプが3回点滅する位置を探してください。

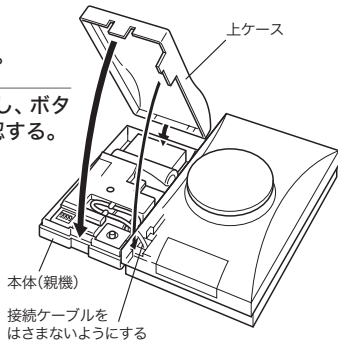
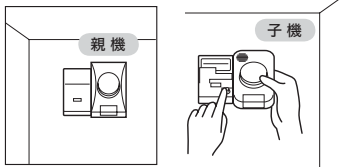
各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態(ランプ消灯)に戻る

- ③親機Ⅱの上ケースを閉め、壁面に設置する。

〈親機-子機の通信感度を確認するとき〉

①親機の上ケースを閉め、壁面に設置する。

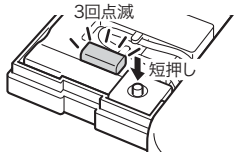
②子機を設置したい場所(壁面)に仮設置し、ボタンを短押しして親機との通信感度を確認する。



設置可能な場所

■ランプが3回点滅する

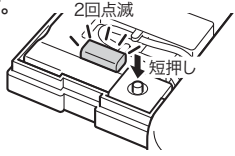
ランプが3回点滅すると、通信感度は最も良好です。



消灯する

■ランプが2回点滅する

ランプが2回点滅すると、通信感度は良好です。



消灯する

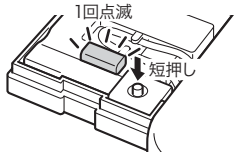
※ランプが3回点滅する場所をおすすめします。

③子機の上ケースを閉め、壁面に設置する。

設置不可能な場所

■ランプが1回点滅する

ランプが1回点滅すると、通信ができていません。



消灯する

取付位置を変えて、ランプが3回点滅する位置を探してください。

9.お客様への説明について

無線ユニットの取り付け、点検が終わったら、お客様に以下の説明を行い、ご理解を得てください。

9-1.無線ユニットの説明

- ① 連動動作および点検結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③ 保証書および取扱説明書の保管のお願い。
- ④ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 1. 機器故障・異常時の動作(ランプ点滅、ブザー鳴動の確認)と処置の説明。
 2. 定期点検の方法と実施周知の説明。

9-2.お客様への周知事項

- ① 保証期間：お取り付け後5年。
- ② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③ 無線ユニットの移設禁止。(移設依頼の連絡先)
- ④ 無線ユニットの分解禁止。
- ⑤ 引越時の処置。
- ⑥ 故障・異常時の連絡先。
- ⑦ 過度の操作禁止。

10.機器異常の確認と応急処置

10-1.異常内容の確認

無線ユニットに異常が発生している場合、その異常内容をランプの点滅とブザー音(親機のみ)で確認できます。異常内容によって、ランプの点滅パターン(2分ごとに繰り返す)が異なりますので、以下を参照して異常内容を確認してください。

〈親機の表示〉

異常内容	ランプの表示(2分ごとに繰り返す)				
	点滅	消灯	点滅	消灯	点滅
親機の接続異常	2回	1秒程度	1回	1秒程度	2回
子機の接続異常	2回	1秒程度	1回	1秒程度	1回
子機との通信異常	2回	1秒程度	1回	—	—
親機の電池切れ	1回	—	—	—	—
子機の電池切れ	1回	1秒程度	1回	—	—
親機2台(2グループ)で使用	もう一方の親機の接続異常	2回	1秒程度	2回	1秒程度
	もう一方の親機との通信異常	2回	1秒程度	2回	—
	もう一方の親機の電池切れ	1回	1秒程度	2回	—

〈子機の表示〉

異常内容	ランプの表示(2分ごとに繰り返す)				
	点滅	消灯	点滅	消灯	点滅
子機の電池切れ	1回	—	—	—	—
子機の接続異常	2回	1秒程度	1回	1秒程度	1回
親機との通信異常	2回	—	—	—	—

8-2.警報器の連動点検

連動点検では大音量の警報音が鳴りますので、事前にご近所の方や住宅管理者へ周知徹底した上で行ってください。

①警報器(いずれか1台)の点検スイッチを3秒以上間押す。

②右表のように、接続したすべての警報器間で、連動していることを確認する。

連動先の警報器	1分間鳴動	▶	監視状態
警報元の警報器	1回鳴動	▶	監視状態

〈警報を早く止めたいとき〉

警報元の警報器の点検スイッチを再度押すと、すべての警報が停止します。

〈おねがい〉

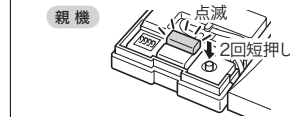
- マイコンメータと無線連動している場合、火災警報機能付ガス警報器の電源投入後25分以内に、その警報器を警報元とした連動点検を行わないでください。マイコンメータを遮断し、ガスが使用できなくなります。万一、遮断してしまった場合は、必ずマイコンメータの取扱説明書に基づき、復帰作業を行ってください。
- マイコンメータの連動遮断点検は、連動無線ユニットマイコンメータ用親機に付属の取扱説明書を参照して行ってください。

〈参考機能〉

親機の操作で、すべての登録機器との通信状態を確認することができます。(通常、行う必要はありません。)

- 作業をやり直す場合は、各機器のボタンを4回短押しして、ランプを消灯させてください。
- 各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態(ランプ消灯)に戻ります。

①親機のボタンを2回短押しする。



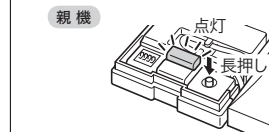
次のランプ表示に変わる

ランプの表示(5秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
2回	1秒程度	2回

②親機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。

ランプが2秒点灯すると、通信感度は良好です。

※「ピッピッ」というブザー音とともに、ランプが3回点滅する場合は、③に進み、ランプを消灯させた後、通信感度の確認を行う。(→「8-1.通信感度の確認と設置」参照)



機器登録状況確認(1分以内)

次のランプ表示に変わる

ランプの表示(5秒ごとに繰り返す)		
点滅	消灯	点滅
2回	1秒程度	2回

③親機のボタンを4回短押しする。

親機のランプが消灯すると、作業完了です。

※2グループ間で連動登録している場合は、もう一方の親機も①～③を行う。

10-2.応急処置

〈電池切れ表示の場合〉

新コスモス電機株式会社ホームページに掲載の対処法に従って処置してください。(http://www.new-cosmos.co.jp/)

〈接続異常表示の場合*〉

異常のあった機器の警報器との接続を確認してください。(→「6.警報器への接続」参照)

〈通信異常表示の場合*〉

異常のあった機器を移動させてから通信状態を確認してください。(→「8-1.通信感度の確認と設置」参照)

ランプが1回点滅した場合は、異常を表示した親機に近づけて、もう一度通信状態を確認してください。

*接続異常・通信異常で、上記の処置を行っても復旧しない場合は、新コスモス電機株式会社ホームページに掲載の対処法に従ってください。(http://www.new-cosmos.co.jp/)

